

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとんぼくくスポーツさくら台校		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 17日		2024年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	2024年 5月 7日		2024年 5月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 7月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの内容が子どもの興味や発達に合わせて柔軟に設計されており、「固定化されない工夫」が評価されている。	運動療育を中心に、子どもが主体的に関わる活動を意識的に構成し、達成感を得られるプログラムづくりを推進している。	家族支援やペアレントトレーニングなど、保護者向け支援機会を拡充する。
2	職員の専門性や支援の質が保護者から高く評価され、個別支援計画への信頼も得られている。	支援前後の職員間ミーティングを徹底し、日々の支援の質の維持・向上に努めている。	地域との交流(児童館、他施設、他の子どもとの合同活動等)を取り入れ、社会性・他者理解の促進を図る。
3	日々の記録やモニタリングが継続的に行われ、支援の振り返りと改善につながっている。	子どもの興味・関心に応じた活動を取り入れることで、活動参加への意欲向上と自己表現の場を確保している。	情報発信(通信・ホームページ・SNSなど)を通じて、事業所の活動や支援内容の可視化と信頼向上に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部評価や学校・地域機関との連携の頻度が少なく、支援の広がりや継続性に課題が見られる。	地域連携を担う職員の時間確保や情報収集の不足により、外部機関との関係構築が進みにくい。	学校・地域関係機関との定期的な連絡・情報交換の場を設け、支援の一貫性と協働体制を構築する。
2	保護者支援の取り組み(研修や保護者同士の交流機会等)について「やや不十分」との認識が一部で見られる。	保護者支援の充実には人的・時間的リソースが必要であり、計画的な導入が求められている。	保護者対象の講座や情報提供会を年に数回実施し、保護者支援力の向上と信頼関係の深化を図る。
3	通信やSNSによる情報発信について、保護者の期待に十分応えきれていない部分がある。	広報活動に関するノウハウや体制が限定的で、発信手段の多様化や更新の継続性が課題。	ホームページやSNSの更新体制を整備し、活動報告や評価結果の見える化を推進する。